



なぎちょう
奈義町

12月議会

議会だより



雪を頂いた冬の那岐山

169号

令和6年2月1日発行

発行 奈義町議会
編集 議会広報委員会
〒708-1392
岡山県勝田郡奈義町
豊沢306-1
☎(0868) 36-4191

【おもな内容】

- 12月定例会・臨時議会で決まったこと …………… 2～3 ページ
- 総務常任委員会、まちづくり常任委員会、演習場対策特別委員会報告 4～5 ページ
- 一般質問（9名） …………… 6～14 ページ
- 常任委員会合同視察研修、茨城県境町研修 …………… 15 ページ
- こども園現地視察、政務活動費、表紙の紹介、編集後記 …… 16 ページ

(英語指導助手) の質問が続出

令和5年第4回定例議会が、12月6日から21日まで開かれ、条例8件、補正予算3件、報告1件、請願1件、その他1件の合計14件を審議しました。

《 条例 》 7 件

議 案	概 要 と 質 問 等	審議の結果
奈義町空家の適正管理に関する条例の一部を改正する条例	空家等対策の推進に関する特別措置法の一部改正に伴い条例を改正するもの。	全員一致で可決
奈義町議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例	特別職職員の給与に関する法律の一部改正により、総理大臣等の特別給が引き上げられることに伴い、議員の期末手当も同様に0.1月分引き上げるもの。	賛成8、反対1で可決
町長等の諸給与に関する条例の一部を改正する条例	一般職の期末手当を引き上げることに伴い、町長等の期末手当も0.1月上げるもの。町長のパワハラ疑惑や職員の残業問題があったのに上げるのかなど、質問があった。	賛成8、反対1で可決
奈義町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	人事院勧告に鑑み一般職の給与の改正に基づくもの。もっと給料を上げて、いい人材が来るようにした方がいいのではないか、との質問があった。	全員一致で可決
奈義町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	地方自治法の一部改正により、勤勉手当の支給が可能となった。	全員一致で可決
奈義町立こども園に関する条例の一部を改正する条例	こども園の開園に伴い、入園の申し込み手続き等施設の運営に際し、必要な条項を加えるもの。細かいこども園の運用については、別途規定が必要ではないかと質問があった。	賛成8、反対1で可決
奈義町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	加入者が出産した場合、産前・産後にかかる所得割額、均等割額を減免するもの。	全員一致で可決

《 議員発議・条例 》 1 件

議 案	審議の結果
奈義町議会議員の請負の状況の公表に関する条例	全員一致で可決

《 請願 》 1 件

名 称 等	審議の結果
「最低賃金全国一律制への法改正を求める意見書」採択を求める請願 これについては反対討論、賛成討論があった。	賛成3、反対6で 不採択

12月 定例議会

令和5年
12月6日～21日

国際交流とALT 12名の招致について

《補正予算》3件

議案	概要	審議の結果
奈義町一般会計補正予算 (第5号)	歳入・歳出の総額に41,000千円を追加し、8,092,000千円とする。自治体システム標準化事業について令和5年度から8年度まで岡山中央総合情報公社に依頼するための開発負担金を債務負担行為として計上した。	全員一致で可決
奈義町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	歳入・歳出の総額に670千円を追加し、701,579千円とする。	全員一致で可決
奈義町介護保険特別会計補正予算(第2号)	歳入・歳出の総額に644千円を追加し、969,421千円とする。	全員一致で可決

第4回 臨時議会 (令和5年11月10日)

《補正予算》1件

議案	概要と質問等	審議の結果
奈義町一般会計補正予算 (第4号)	歳入・歳出の総額に109,000千円を追加し、8,051,000千円とする。歳出内訳は、まち・ひと・しごと事業費に1,440千円、新型コロナウイルス感染症対策費に103,900千円、商工業振興費に5,000千円、道路橋梁維持費に2,500千円、予備費△3,840千円 茨城県境町のALT(英語指導助手)の視察と新型コロナウイルス感染症対策費の活性化支援券について質問があった。 反対討論 2名から、ALTの視察の予算は教育委員会の所管ではないか等の討論があった。	賛成7、反対2で可決

《契約》1件

議案	概要	審議の結果
歩行型除雪機購入に係る物品売買契約の締結について	除雪機 18台 契約金額 10,395,000円 長野県 田中機械株式会社	全員一致で可決



委員会報告

総務常任委員会

総務常任委員会は、総務課、税務住民課、こども・長寿課、新型コロナウイルス感染症対策推進室、学事課、こども園・中学校開設準備室、生涯学習課、学芸図書課が所管する事業について審査を行います。

■委員長：岡 立 ■副委員長：野々上美智明 ■委員：岡部英生・森藤政憲・小阪四郎

【総務課】

職員採用について

- Q** こども園職員の採用者の内訳はどうなっているか。
- A** 保健師1名、調理師1名、保育士4名である。なお、次の採用で保育士3名を予定している。

【税務住民課】

国民健康保険税について

- Q** 来年度の国民健康保険税を引き下げる考えはあるか。
- A** シュミレーションをきちんと行い、なるべく負担が少ないように検討したい。

助かる補聴器購入助成 —最大補助5万円—

- Q** 補聴器購入助成の交付人数は。
- A** 12月時点で14件。



【コロナウイルス感染対策室】 次回活性化支援券発売について

- Q** 活性化支援券の発売は、町外者カードの人も購入できたが、町内者優先で買えるように、売り方を検討できないか。
- A** 次回12月8日販売分は町外者カードの方には、1週間ずらして12月15日からの販売としている。

【こども園・中学校開設準備室】 自転車送迎については

- Q** 自転車送迎の駐輪場は、安全のためにも場所の確保が必要ではないか。
- A** 駐車場の一区画や、玄関前を三角コーナーで仕切るなど場所を設けたい。

まちづくり常任委員会

まちづくり常任委員会は、情報企画課、産業振興課、地域整備課、こども園・中学校建設推進室が所管する事業について審査を行います。

■委員長：上原伸介 ■副委員長：中井泰洋 ■委員：芦田 元・須一玲子・定森久芳

【情報企画課】

まんぞく量調査について

Q 毎年行われているまんぞく量調査は、実際にはどのような形で住民サービスに活かされているのか。

A 評価の低い項目について必要な対策を講じるべく、翌年度の施策や予算額を検討する際に活用している。

【情報企画課】

情報公社基幹系システムの標準化について

Q 標準化を行う上で必要な費用に対し、国からの助成金交付はあるのか。

A 補助金額は、費用の10分の1程度と少ないのが現状。そのため、全国町村会や市長会からも交付額の増額を要望しているところである。

【産業振興課】

多面的機能支払交付金の活動期間延長について

Q 現在の計画を1年延長して令和6年度までとなるならば、交付金の繰り越しができるのか。また、このことについて早く詳細な内容を示すべきではないか。

A 10月17日に国からの通知があり、10月末に県から町へ情報の提供があったが、計画期間の選択肢以外のことは示されていなかった。国や県に確認をしながら、必要な情報提供を速やかに行っていきたいと考えている。

演習場対策 特別委員会

■委員長：上原伸介
■副委員長：野々上美智明
■委員：その他議員8名

11月30日、陸上自衛隊日本原駐屯地の視察を行いました。

駐屯地の沿革や部隊についての説明を受け、装備品の見学等を行いました。

(写真は3月で廃止になる74式戦車)



Q 陸上自衛隊との 共存共栄への取組は



野々上美智明 議員

A 演習場の安定使用への協力と、充実期成会 を中心とした積極的な要望活動に取り組む

質問 日本原演習場対策委員会を通じた活動の現状、特に演習場の使用環境向上に向けた協力について、町長の考えを伺う。

答弁 町長 演習場の安定使用に当たっては、昭和46年に日本原演習場対策委員会が発足し、地域の民生安定と演習場の安定使用に取り組んでいる。年4回の定例委員会を開催し、主に自衛隊からの演習計画や演習実績、演習場整備計画等の説明を受け、調整審議するとともに、関係地区からの意見、要望を協議し、これまで演習場の使用に係る課題の解決が図られてきた。使いやすく良好な演習場であるために当委員会は特に重要な組織である。引き続き演習場の使用環境が向上できるよう、継続した努力が必要であり、今後も自衛隊から新たな訓練方式や要望が示された際は、実現に向け、できる限り協力してまいりたい。

質問 日本原駐屯地充実期成会などを通じた活動の現状について、特に、日本原駐屯地の充実、所属隊員数の維持や増勢に向けた取組について伺う。



拡幅が計画されている東弾着地（中央）

答弁 町長 日本原駐屯地の隊員は、その家族も含め地域経済の維持発展に大きく貢献している。奈義町と日本原駐屯地そして演習場は、共存共栄という理念である。引き続き、充実期成会を中心に、岡山県と関係自治体、そして関係団体と緊密に連携を図りながら、積極的に要望活動をしてまいりたい。

Q 令和6年度予算編成に向けた取組は

A 改革、改善に取組み、人口維持に結び付く事業を推進していく

質問 子育て応援関連で学校給食費の無償化、高齢者福祉関連でさとまる交通の利用料金補助の継続、移住者などへの対応関連で豊沢住宅跡地の再開発及び森林環境譲与税を活用した取組の進展について伺う。

答弁 町長 給食費（こども園を含む）の無償化は、国に先駆けて実施してまいりたい。さとまる交通の利用料は、定期券等も検討し料金の維持に努める。豊沢住宅跡地の再開発は、高額の事業費も必要であり民間力を導入できる方法を考え、もう少しばらけ検討に時間を要す。森林環境譲与税の活用は、他市町村の事例を参考に、令和6年度の事業内容等につき協議する。



上原 伸介 議員

Q 「海外との姉妹都市契約」は、町民の合意を得ながら進めるべきでは

A 町民へ段階的に説明していく

質問 子どもたちの英会話能力の向上を目的とした取り組みとして、12名ものALT（外国語指導助手）をフィリピンから招く計画が進められている。その費用は年間で約8300万円かかるが、フィリピン国内の都市と姉妹都市契約を結ぶことで、奈義町の費用負担を約2500万円に抑えることができる、との説明があった。

海外との姉妹都市契約というのは、町の未来を方向づけるほどの大変重要な事項であり、当然町民の理解と納得を得ながら進めるべきである。

また相手先の都市について、治安概況や町の特徴等、詳しくは何も分かっていない状況である。このような状態で、計画を推し進めていくのは、見切り発車であると言わざるを得ない。もっと時間をかけて慎重に検討していくべきではないか。

答弁 町長 今回の事業は、異文化理解から国際感覚を身に付

けたり、英会話能力を上げるために実施するものである。その他の分野での交流については、段階的に検討をしていきたいと考えている。その都度、町民の皆さんには説明をしていく。相手都市についても、分からないところがあるから交流をするのであり、異文化を理解するという面でも交流をしていきたいと考えている。



完成間近のこども園

Q こども園開園に向けての準備は万全か
A 開園に向け、着実に進めている

質問 こども園については、これまでにもいろいろな課題が挙げられていたが、いまなお課題として残っているものはないか。また、3歳児教育について具体的な取り組み内容は。

答弁 教育長 現時点での課題としては、職員の確保や給食体制の整備、また通園路等の周辺環境の安全確保を徹底することが挙げられる。これらについては、職員や保護者等の意見を聞きながら、開園までのあいだに着実に取り組んでいく。

3歳児教育については、これまでと同様であり、子どもたちが互いに助け合うことを学び、無理なく経験を積み成長していくよう、取り組んでいく。

Q 職場の勤務環境の改善を



芦田 元 議員

A 職員の声を聞きながらより良い職場づくりに努める

質問 行革目標に対して職員不足の解消がされていない中、議会としても改善の申し入れを行った。やむを得ず行われる超過勤務がサービス残業とならないよう配慮しているか。効率よい業務の精査や、余裕を持った職員配置となるよう環境を整える改善ができてきているか。

答弁 町長 時間外勤務手当は、適正な支給となるよう取り組んでいる。組織内の強化のため職員研修や職員組合と話し合いの場を設け、より良い職場づくりに努めている。

Q こども園の職員の確保は
A 62名から63名の体制を予定

質問 採用予定では、正職員40%、会計年度任用職員60%である。正職員の比率をもっと上げていくべきではないか。

答弁 教育長 産休対応や短時

間勤務もあり、会計年度任用職員も重要である。先々の状況も見ながら比率は考えていきたい。

Q 国際姉妹都市契約は、拙速すぎるのでは
A 年度内に契約して英語指導員を受け入れる

質問 普通交付税の算入については、別の方法もある。英語教育のビジョンを示し、検証しながら内容を充実させていくべきではないか。

答弁 町長 姉妹都市として、実績のある業者から紹介をいただいているまちである。フィリピンの中で、治安もよく環境もいいと思っている。

Q 西の玄関口の整備を
A いい環境にしていきたい

質問 国道53号の大曲りの入り口は、「奈義町へよく来られた」

と歓迎するイメージでない。整備する考えはないか。
答弁 町長 景観を損なっていると感じる。防衛省と国交省へ要請する。



国道53号大曲り入口付近



定森 久芳 議員

Q 農業機械の導入への補助金の改正は

A 今まで通り国・県の補助金に上乘せを行う



活用が進む農業用ドローン

質問

地域計画に登録される担い手、認定農業者に対する、ドローンなど、スマート農業の機械や、省力化を図る機械の導入・更新に対する補助事業の策定、または、今ある補助金の改正はできないか。

答弁 町長

新たな機械の導入となれば多額の資金が必要となる。町独自の補助金では、予算的に困難である。今まで同様の国・県の補助金への上乘せをする方法を行う。また、単に機械の更新に対する補助金は難しい。今までであった農林業振興事業については、農業者の意見をよく聞き、見直しを検討する。

Q

こども園開園までと開園してからの課題・対策について

A

それぞれについて対応

質問

こども園の引っ越しはいつ行うのか。

答弁 教育長

3月30日～4月1日の3日間の中で保護者にも相談し実施する。

質問

開園までに、保育士は確保できるのか。また正職員を増員すべきではないか。

答弁 教育長

職員数は確保できている。会計年度任用職員もほとんどの先生が保育教諭の資格をもってしている。正職員の人数については、年齢構成等を考えながら検討する。

質問

保育士以外に事務員が必要ではないか。

答弁 教育長

担当部署が担うので予定していない。こども園に安全管理面から、園務員としてなるべく男性職員の配置を考

えている。

質問

送迎バスでの事故が起こらないようにマニュアルの作成等を検討すべきではないか。

答弁 教育長

既に通園バス安全管理マニュアルを策定し訓練も実施している。

質問

こども園に入園の申込が225人程度あると聞いたが、定員が250人なので、定員オーバーになったときの対策は考えているのか。

答弁 教育長

年度途中からの入園希望者も含まれている。今後の人口動態に注視する。

Q

奈義町が以前、実施していた海外との文化交流、海外視察はできないか

A

町民に異文化理解、国際感覚を養うため、いろいろな国と文化交流ができればいいと考えている

Q 大雪になった時、町道にかかる樹木の除伐を

A 地区内で対応できるものは地区にお願いしている



小阪 四郎 議員

Q 町道の路肩の整備について

A 毎年、地区で計画的に実施していただいている



雪になったら心配な樹木

質問 大雪になった時、町道に面した山の木、竹やぶが道路をふさぐことがあって通行不能になることがある。対応はどうか。

答弁 町長 地区内で対応できるものは関係地区にお願いしている。陰切り作業については僅かだが、助成措置もある。



町道ののり面をコンクリート化

質問 毎年、地区をあげて町道の草刈を行っているが、のり面の面積の広い所は大変である。のり面の全体をコンクリートにしてはどうか。

Q 町道のり面をコンクリートに

A 計画的に進めていく

質問 路肩に土が溜まり草が生え町道管理の点から、土や草を除却する対応が必要ではないか。

答弁 町長 毎年、区長会総会でお願ひし、地区では計画的に実施していただき感謝している。少額だが助成金を用意している。

答弁 町長 町内事業者が農産加工品の生産等を目的とした施設整備には経費の1/2で100万円を上限に助成がある。個人への助成は検討はするが難しい。

質問 小さな規模の農家の方によって山彩村は成り立っている。また商品開発に意欲のある方もあり、パイロットキッチンで新商品もできている。個人で設備投資を行うのは負担が大きく難しい。町として援助ができないか。

Q 個人の6次化の設備投資に補助を

A 検討するが難しい

答弁 町長 近年、県道でも実施しており、のり面の保護、維持管理の軽減や視認性の確保ができ、有効な工法と考えている。優先順位の高い箇所について、計画的に施工を行う。



中井 泰洋 議員

Q こども園、学校周辺の交通安全の配慮を

A 必要な措置を行う

質問 こども園、小学校、中学校周辺の交通安全に対する配慮が少ないように思う。

近隣市町村の保育園、学校周辺では、30キロスピード規制、通学路標識、細い道路では通学路情報の注意喚起があり、登下校時の安全の配慮が十分にされているところが多くある。

奈義町でもこれらの場所の横断歩道、一旦停止、時間帯通行区分、スピード規制等のことを考えるべきと思うが。

答弁 町長 交通安全点検により、危険個所の把握、対策に努めている。また交通安全推進会議を実施するなど、毎年検討を行っている。

中央広場とこども園をつなぐ横断歩道は、先般整備した。また、一旦停止等も設置される予定である。保護者説明会において、送迎ルートは、豊沢成松線のセンサーゾーンを通行するようをお願いをした。今後も、交通状況等を把握しながら必要な

措置を行っていききたい。

Q 自動車急発進防止装置補助金の継続を
A 引き続き継続する

質問 古い車を運転している方もいるので、自動車急発進防止装置補助金の制度を継続してほしい。

答弁 町長 引き続き制度を残して取り組みたい。

Q シニアカー利用者に安全運行教室の開催を
A 講習会を設けていきたい

質問 免許返納をした人がシニアカーに乗りかえ、移動手段として利用している人を多数見かける。シニアカーは歩行者と同じ交通区分である。歩道を通行しても良く、歩道が無い場合は右側通行である。

車道の左側通行、横断歩道以外の道路横断を見かけることもある。安全に運行してもらうために、安全運行教室を計画してほしいか。

答弁 町長 老人クラブ等を通じて、道路交通法令講習会や安全運転指導等について講習会を設けていきたい。
安全安心の利用につながるよう呼びかけていきたい。



通学路路面標示 (津山市)

Q ALTプロポーザルは公平・公正に行われたのか



森藤 政憲 議員

A ふさわしい業者を選んだ

質問 突然、英語教育が言われた。なぜ、フィリピンなのか、なぜ、12人なのか、改めて聞きたい。

答弁 町長 英語教育に力を入れ、英語が話せる子どもを育てたい。フィリピンは教える能力が高い。12人は、各学年に1人は配置する予定で考えている。

質問 英語指導助手（ALT）のプロポーザルは、特定の業者有利となっていたのではないか。公平・公正さに欠け疑問を感じるがどうか。

答弁 副町長 フィリピンは英語能力が高く、アチーブゴールについては、地方交付税の事など経費的な提案もあったので選んだ。

質問 保護者や町民への十分な説明がない中、進められている。町民への説明が必要ではないか。

答弁 町長 検討する。



介護保険でいきいき元気に

Q 介護保険料の引き下げなど、町民生活防衛の予算編成を

A 介護保険料は引き下げを検討

質問 新年度予算は、物価高等の中、町民生活防衛の姿勢が必要だ。介護保険料や国保税の引

き下げについての考え方はどうか。学校給食の無償化を約束通り進めて欲しいが。

答弁 町長 介護保険料は引き下げる方向で検討している。国保税は引き下げをしたいが、医療費の動向もあるので、今後、対応を考えたい。学校給食は約束通り無償化したい。



須一 玲子 議員

Q 高齢者を支える家族等に支援制度の情報を

A 社協と連携し取り組む

質問 高齢者を支えている家族や一人暮らしの人に向けて、支援制度の情報を、お知らせする必要がありますか。

答弁 町長 研修会等で社会福祉協議会とも連携し情報をしっかりと提供していきたい。

Q 子育て施設への援助を
A できる支援を考える

質問 奈義町は、子育ての全国応援会議も開き、注目される町になっている。町内には色々な面で子育てを支援している施設もあり、そこへ援助をしてはどうか。

答弁 町長 子育て支援で頑張っている施設への応援は必要と考えている。町でできる支援を考えていきたい。

Q 空き家の家財処分への
助成見直しを

A 適正な補助額を検討

質問 空き家では、

家財の処理のために多額な費用が発生し処分ができない場合がある。家財処分費用の助成上限20万円を見直して、空き家の再生をはかり、他の町から転入者を増やす方法を考えてはどうか。

答弁 町長 多量ごみの収集問題と合わせ、家財処分への適正な補助額になるよう検討したい。

Q これからの町づくり
は町民の声をよく聞いて
進めて欲しいが
A 真摯に受け止め情報
発信したい

質問 ALTについて、町民からは賛成の声もあるが心配の声も聴かれる。町民の声をよく聞

き、本当にいい町になってきたと言えるような町政を進めて欲しいがどうか。
答弁 町長 しっかりお知らせしてまいりたい。足りない部分という事で指摘をいただいたので、真摯に受け止めながら情報発信をしていきたい。



子育ては楽しい



岡 立 議員

Q チャイルドホームの今後は

A 子育てを楽しめる新しい魅力をつくっていききたい

質問 こども園での暮らしを充実させる対策は。

答弁 教育長 発達段階に応じて細かくカリキュラムを作っている。人材確保に関しても、休憩がちゃんと取れる等、体制を作っていききたい。

Q 在宅育児にもう少し

支援を

A 今後検討していく

質問 こども園を充実させると、子育ての選択肢がこども園一つになり、チャイルドホームの役割がなくなるのではないか。そうならないよう、在宅育児にもう少し支援してはどうか。

答弁 町長 こども園一択にならないよう、チャイルドホームの新しい機能として都市からの親子での保育留學も検討している。また、在宅育児手当も、しっかり検討していききたい。

Q 19歳から64歳にも、

もう少し心配りを

A 大学生への支援もしっかり検討する

質問 忙しく働く中間年齢層の人も応援しているよ、と伝わる支援ができないか。

答弁 町長 人間ドックは30歳から74歳まで、誰でも補助金が受けられるようになっていく。

また、一番お金のかかる大学生の応援もしたいと思っているが、もう少し時間をかけてしっかり検討していく。

Q こども議会での提案で

できることはないか

A 美化条例の制定を進める。B&Gの温水プールも調査検討中

質問 6年生の子ども議会、その後の反応は。

答弁 教育長 町をより良くす

るための提案を聞いてもらえて良かった、との声があった。

質問 子どもたちの提案で、すでに進んでいる事もあると聞いているが、他にも実現できそうなものがあるか。

答弁 教育長 誰でも使える杖はすでに配置した。エレベーターはまもなく設計に入る。B&Gのプール温水化も調査検討中。ごみのポイ捨てを減らす条例の制定を進めている。今後もこども議会は続けていききたいと考えている。



17年ぶりのこども議会

常任委員会合同視察研修

10月12日
～13日

広島県世羅町

「株グリーンファームせら」の営農組織の取り組みについて

圃場整備の事業化に向けて、世羅町の8法人が自主的に協議し、経営の発展的ビジョンづくりを行い、平成29年、6法人が担い手の受け皿となる「株グリーンファームせら」が設立されました。将来的に30人の雇用創出、400haを集積し、米50%、広島菜、小豆、麦等で50%の生産加工を行うことを目標としています。6法人の中で、「株恵」が核となって活動されていましたが、「グリーンファームせら」が主体となった営農活動のメリットについて、明確に示されなかった点が気になりました。

岡山県総社市

障がい者1500人雇用の取り組みについて

障がい者の雇用促進と就労の安定化並びにライフステージを通じた支援を、地元の中企業の協力を得ながら熱心に推進されてきました。支援窓口も幅広く設け対応されていたのが印象に残りました。



常任委員会合同視察研修（総社市）

茨城県境町での英語教育合同視察研修

令和6年
1月17日

保育園から小学校・中学校にわたり英語教育の先進的な取り組みが行われている境町の研修を執行部、教育委員会、小学校、中学校と合同で行いました。

境町役場において英語教育への取り組みの概要説明を受けた後、午前中におおぞら保育園（5歳児クラス）、境小学校（6年生）、午後から境第2中学校（1年生）の授業を参観しました。

保育園では、フルーツバスケットのゲームを英語で楽しく行うなど遊戯感覚で英語に馴染む場面が印象に残りました。

小学校・中学校では、英語のみの進行で、英会話主体の教育が行われ、授業進行の主導的



おおぞら保育園での参観風景

な役割はフィリピン人のALT（語学指導助手）が担っており、ALTの役割を再認識しました。同行の学校教諭は「授業中、子どもたちが生き生きと英会話を楽しんでいる姿が印象的でした。」との感想を話されていました。

議会がこども園を視察

その大きさに改めてビックリ

11月22日、議員全員で、建設中の「なぎっ子こども園」を視察しました。これには、奥町長、和田教育長など執行部も同行しました。

中に入ると、百メートル近くに及ぶ、まさにすぐに伸びた、「ナギミチ」が目に入りました。その両側に教室が配置されており、工事が進行していました。議員からは、窓ガラスが多いが大丈夫か、広いフロアーの冷暖房の対

策は、光熱費がかさむのでは、などの質問が出されていました。2月末の完成を目指している、との説明でした。事故のないことを願って視察を終えました。



こども園視察

令和5年度前期分政務活動費報告書 (令和5年4月～令和5年9月)

議員氏名	収支報告額 (実績) 単位:円					支給決定額	政務活動費の主な使い道
	研修費	会議費	資料購入費	広報費	合計		
定森久芳	7,900		4,400	6,710	19,010	19,010	「定森ひさよし新聞」発行他
芦田 元	61,500				61,500	60,000	「10年目までの議員向け特別セミナー」受講
小阪四郎			27,398		27,398	27,398	「地方議会人」他購読料
森藤政憲		3,600	4,400	15,130	23,130	23,130	「森藤まさのり議会だより」発行他
計	69,400	3,600	36,198	21,840	131,038	129,538	

※その他の議員は、今回使用していません。

表紙の写真

今月は、冬の那岐山です。今冬の雪は、積もったり、消えたりですが、1月上旬の西原からの姿です。

編集後記

一年で最も寒い時期を迎えておりますが、議会では熱い議論が行われています。議会だよりで、町民の皆様様に議会の各種活動を報告しようとしておりますが、紙面にも限りがある関係上、この熱い議論をお伝えするにも限界があります。

ぜひ、お時間に余裕がある際は、議場まで足を運んでいただき、生で熱い議論をご確認いただけますようお願い申し上げます。本年もよろしくお願います。(野々上 美智明)

【編集委員】

委員長 森藤 政憲
副委員長 芦田 元
委員 須一 玲子
定森 久芳
野々上美智明
議長 岡部 英生